9 (11)

十一月二日焼み人のあれるかっちないっちんのある 七佐一方六十五年之 古千八百をあ 十万九千七百余人之 海水 你分務行發工 的小门员 寺施鐵

9 (11)

  小教室子祭門校小屋三天天下立下外に腹の内国風を作得——今ら人へごであるりかとあいらってあるというなどをはない、田町大平屋内高後町の家で面重して日本日本に日本につくているれがいってるし近く都沿岸でいて 有 教育 ておいは年中ので 神経の主体のながれる うれいはこと おいまけっていた はないない まねいはこと 現在町子を坊尾は町本りかく おおいはこれを秘書している はんけいじょう おんき 機種田福門衛子雄果代域日子のできなは、京田春川学師で林文下に八代後に最も茂行でで孫因別孫は大曜なな、下一等後に一ち日本は祖でなる神田立在で最後了十八四本神様なるに伊き林校会は大田郡での神田立在で最後一一八名町最も多く書意町かり、京田福から社会では東京美蔵は上の町水石の町は大りは代町や丘と三味で城古まりの大会で在をままいかり、京田福から社会では東京美蔵では、江野町水石の町は大りは代町や丘と三味で城古まりの大会で在をままいかり、京田都かの社会では、京田都の村では、日本村では、江東の東京では、京田では、日本村では、江東の東京では、日本村では、日本は、日本村では、日本は、日本村では、日本は、日本は、日本は、日本は、日本は、日本は、日本は、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本村では、日本 大阪院でからいている中土は五時本的人の教が一根理づち文書を設地の指布町です回いるかのよういけいのであるを見ばいるといいのでは、大きのというないのでは、大きのというないのでは、ないのでは、ないのでは、 四年でかどある中野なの子町辺留路町岳下山大城本川の学をはられる寺町彩坊でも一から大きるをを天町にのをはなるかなりまでのである。 田丁寺丁周沙了同山川町海京外门中了在原天楼的京居町三町北谷田谷等院面下在大巷川子寺町 海焼け子住宿い大事的れば谷橋いのでは 但らかたのせのできれるるれともかりるところつまのたとう あき今年 おきい教士もから らんくことるうりけきあいらうさん 火の用かし



9 10

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

